

6月8日（月）

全員登校が始まりました

～給食も選挙も新しいやり方で～

奇数偶数で分けて登校していた分散登校が終わり、この日から全員登校が始まりました。この週は4時間授業、5時間授業、そして6時間授業と徐々に時間数を増やし、本来の学校生活に近づけていきます。

第1校時には、全校生徒に向けた校長の第一声、教務主任から日課の変更予定、給食主任から給食の配膳の変更点についての話がありました。校長からは「現状維持という選択肢はもうない。新しいものを自分たちで作り出すしかない」と、全校の一致団結を作り上げようという呼びかけがなされました。

その後、久しぶりに全員がそろったということで、どのクラスも自己紹介から始まりました。1年A組では、一人一人が手話を取り入れて自己紹介。ずいぶん練習したのか、どの生徒もスムーズに手を動かしていました。



手話で自己紹介をする1年A組



カメラを前に演説する立候補者

第4校時には、前期の生徒会選挙立会演説がZoomを使って行われました。一堂に会して行うこれまでの立会演説会ではなく、テレビ画面を通して立候補者の意欲や公約を知りました。

前期の生徒会執行部には、新しいものを作り出す北中の土台づくりが期待されます。任期は2ヶ月分

短くなります。行事には変更や中止が避けられません。そんな中で、新生徒会執行部がどのような活躍をするのかが大変楽しみです。

選挙結果は、翌日の9日の朝の会で、選挙管理委員長から全校に伝えられます。

今週から給食が始まりました。

マスクを取って食べ物を口にする給食の時間が最も無防備な時間です。感染症防止のために、給食にも変更点がいくつかありました。



密を避けて手を洗う生徒たち

心配されましたが、そこは中学生。大きな混乱もなく、スムーズに給食が進みました。中学校で初めて給食を食べる1年生も、てきぱきと動き時間内に給食を食べ終わりました。



教室で演説を聴く生徒たち

手洗いは放送の指示で順番に行くこと、配膳当番は全員手袋を着用すること、一人一人が自分の膳をもってカフェテリア方式で配膳すること、机列はグループ隊形ではなく一人一人が前を向いて並ぶこと、などなど。



配膳する生徒たち